

但せて賜たまはせらる。多おほき吉よかぎりなく喜き悦えむ。修理しゆりせし獄ご人にん
 を呼よび出いし。二百ひゃく貫かんを賜たまへくひの中ちゆう。君きみも近きん來らい軍ぐん用ようの
 費つひあはる。いさむせりて。ちう二百ひゃく貫かんを賜たまはるぬ。余よのちう遊あそぶ
 沖おき放ほう揚やうあるべし。異い儀ぎなく頂てい裁さいしとされよ。とあへ入いる。こと
 殊こと勝かつつま。若わくどふ山口やまぐち九く年ねん次じ郎らうへ。密ひそに謀まうりし城しろの修しゆ理り
 本もと中ちゆうがふふ内うち謀まうを控うえて。今いま川がは義ぎ元げん上じやう洛らくの機か會かい清せい洲しゅう
 城しろを攻せ落らくさんと内うち通つうのふも虚むしく。つりし。のちうつら。結むす句く
 信のぶ長ながの沖おき和わ首くび尾びあしく。不ふ快かいの色いろを露あらしし。るを及および吉よ郎らう
 のとを識しす。君きみへ情じやううふけり。を言い状じやうせんと思おもへども。小せう介けい
 小せう介けいに能あたり。初はつめふありぬれば。沖おき和わ首くび尾び出いる。さへ掃はらふ。し。と
 急きゆうに言い状じやうつら。つら。と。素もとより多おほき力ちからのちう吉よかれば。柔な道みちよ

便たり。つら。ふ。柔な道みちを。忠ちゆうと。進しんめ。る。ふ。其その服ふく加か減げん他たふ
 異ことな。主ま君くんの。沖おき和わ首くび尾び。あ。称なづふ。れ。ども。信のぶ長ながの。唯ただ柔な道みちの。社やしろ
 との。思おもは。れ。つ。一い個この。柔な道みち。こ。ま。の。及および。吉よ郎らうが。忠ちゆうと。し。つ。り
 と。言いせ。し。つ。織お田た殿との。不ふ審しんふ。思おもは。る。ま。彼かの猿さる形かたち。ま。柔な道みちふ
 よ。く。も。違ちがひ。つ。先まづ。ひ。出いし。て。忠ちゆうと。さ。せ。よ。と。即すく時じ。沖おき和わ首くび尾び。及および
 呼よび。出いし。忠ちゆうと。さ。せ。る。ふ。服ふく加か減げんとい。ひ。所ところ作さと。ひ。殊こと勝かつあ。も
 亦また。つ。と。ら。れ。べ。信のぶ長なが。深ふかく。感かんと。あ。ふ。忠ちゆうと。ふ。吉よ郎らう。を。ふ。く。む。穿うす
 情じやうう。ふ。沖おき和わ首くび尾び。訴うへ。つ。及および。吉よ郎らう。柔な道みちを。奉ほうる。ふ。ま。づ。自かの。己のが
 一い口くちの。ち。忠ちゆうと。し。て。餘あまを。を。撃うつ。る。つ。り。と。諺ことわざ。言いを。所ところ。あ。ひ。信のぶ長なが
 大おほい。小せう怒ど声せいを。を。る。ち。小せう猿さるめ。予これ。ふ。吞のみ。踏ふを。祝いわへ。つ。る。こと。諺ことわざ。猿さる
 る。れ。と。即すく時じ。ふ。め。し。よ。を。言いを。あ。へ。及および。吉よ郎らう。ま。こ。し。も。怖おそむ。ま。